

参考資料

2018年度第1四半期 業績の概要

2018年8月9日

ソニー銀行株式会社

損益の状況(1):財務会計ベース

<連結・単体>

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

(億円)

<連結>

- **業務粗利益**
前年同期比5億円増加の66億円。
- **経常利益**
同5億円増加の22億円。
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**
同3億円増加の14億円。

<単体>

- **業務粗利益**
前年同期比4億円増加の57億円。
有価証券利息の増加や、貸出金利息の増加により
資金運用収支が拡大し、増加。
- **経常利益**
同4億円増加の20億円。
業務粗利益が増加したことにより、増益。
- **四半期純利益**
同3億円増加の14億円。

| | <3ヶ月累計> | 2017年度 1Q | 2018年度 1Q | 前年同期比 | |
|----|----------------------|--------------|--------------|-------|--------|
| 連結 | 業務粗利益 | 61 | 66 | +5 | + 9.1% |
| | 経常利益 | 17 | 22 | +5 | +30.9% |
| | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 11 | 14 | +3 | +30.7% |

| | | | | | |
|----|---------|----|----|----|--------|
| 単体 | 業務粗利益 | 53 | 57 | +4 | + 7.6% |
| | 資金運用収支 | 49 | 55 | +6 | +13.6% |
| | 役員取引等収支 | △7 | △8 | △1 | - |
| | その他業務収支 | 11 | 10 | △1 | △12.2% |
| | 営業経費 | 38 | 37 | △0 | △ 2.0% |
| | 業務純益 | 15 | 19 | +4 | +27.5% |
| | 経常利益 | 15 | 20 | +4 | +30.9% |
| | 四半期純利益 | 10 | 14 | +3 | +31.2% |

損益の状況(2): 社内管理ベース

< 単体 >

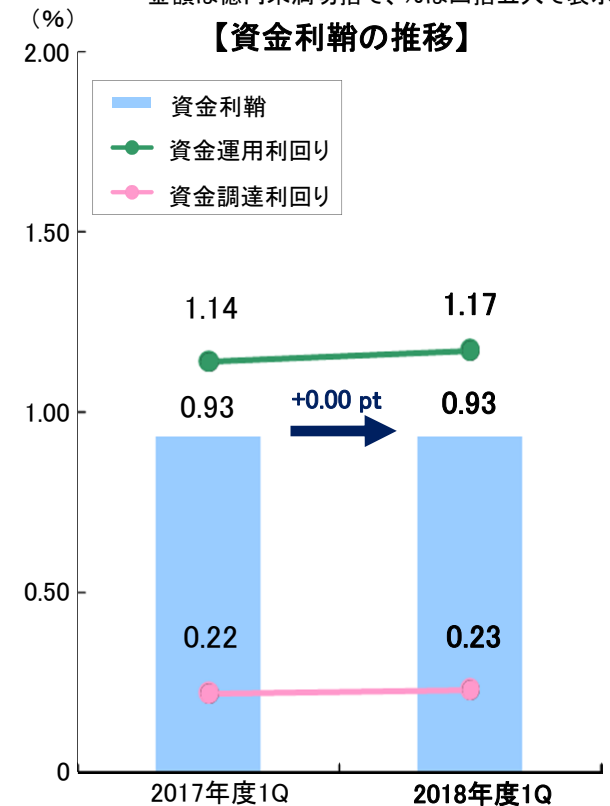
- コアベース業務粗利益は、前年同期比5億円増加の54億円。
資金収支は、有価証券利息の増加や住宅ローンの業容拡大により、増加。
- 資金利鞘は0.93%と、引き続き一定の水準を維持。

(億円)

| <3ヶ月累計> | 2017年度 1Q | 2018年度 1Q | 前年同期比 | |
|------------------------|--------------|--------------|-------|--------|
| | | | 金額 | 増減率 |
| 業務粗利益 | 53 | 57 | +4 | + 7.6% |
| 資金収支*1① | 55 | 62 | +6 | +11.8% |
| 手数料等収支*2② | △6 | △7 | △1 | - |
| その他収支*3 | 4 | 2 | △1 | △28.9% |
| コアベース業務粗利益(A) =①+② | 49 | 54 | +5 | +10.7% |
| 営業経費等③ | 38 | 38 | △0 | △ 0.3% |
| コアベース業務純益 = (A) - ③ | 10 | 16 | +5 | +49.3% |

- 社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの
 - *1 資金収支…資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
 - *2 手数料等収支…役務取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
 - *3 その他収支…その他業務収支より*1と*2の調整分を控除したもの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益
- コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

金額は億円未満切捨て、%は四捨五入で表示



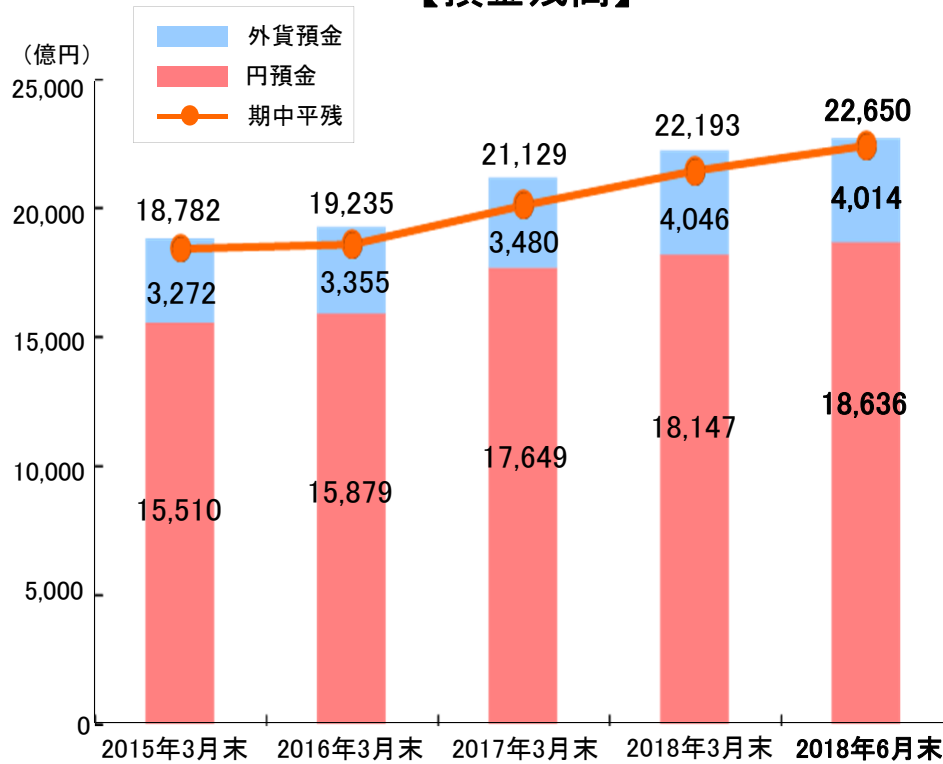
預金の状況

<単体>

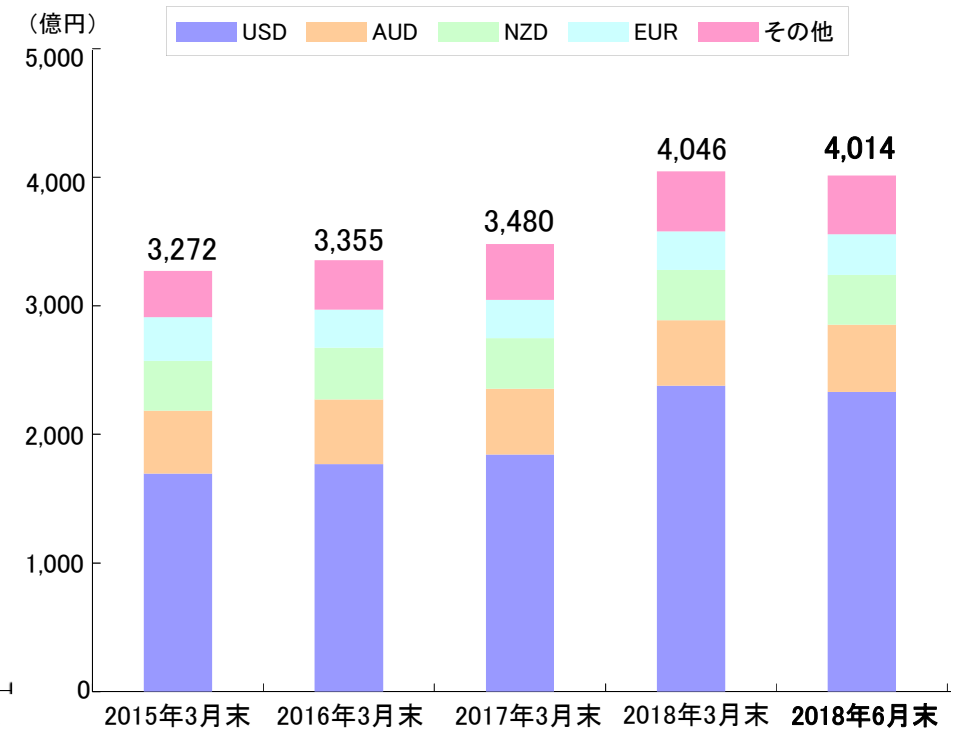
- 預金残高は、前年度末比457億円増加の2兆2,650億円。
 円預金残高は、口座数増加に伴う新規資金の獲得や、円安進行により外貨預金が円転された影響などにより、普通預金を中心に増加。外貨預金残高は、前年度末比ほぼ横ばい。

金額は億円未満切捨てで表示

【預金残高】



【外貨預金残高】

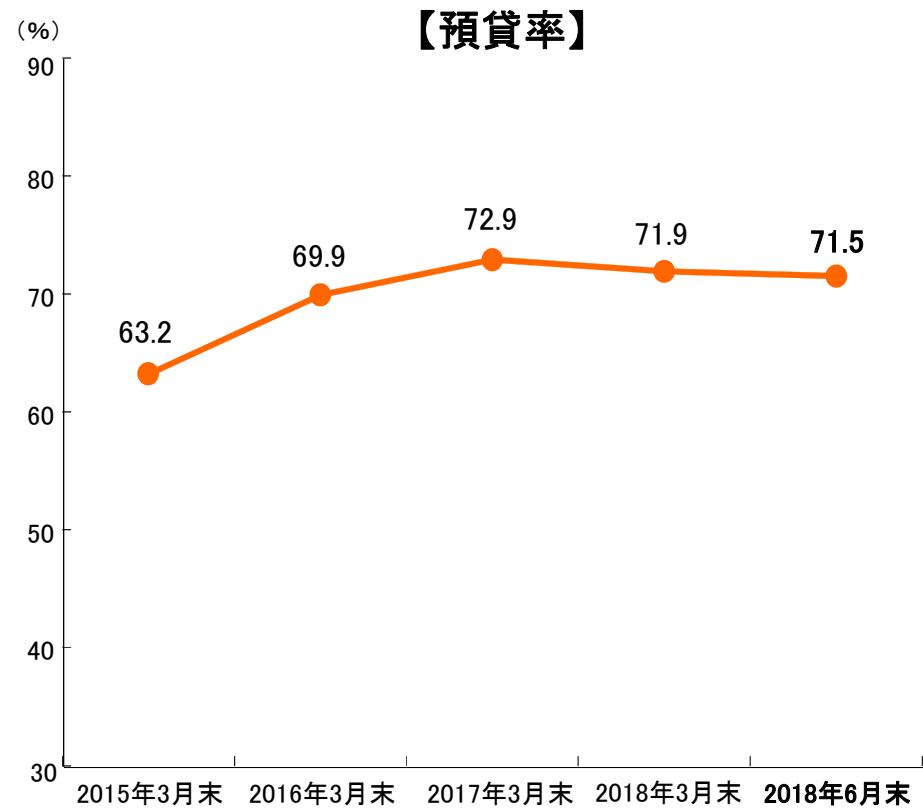
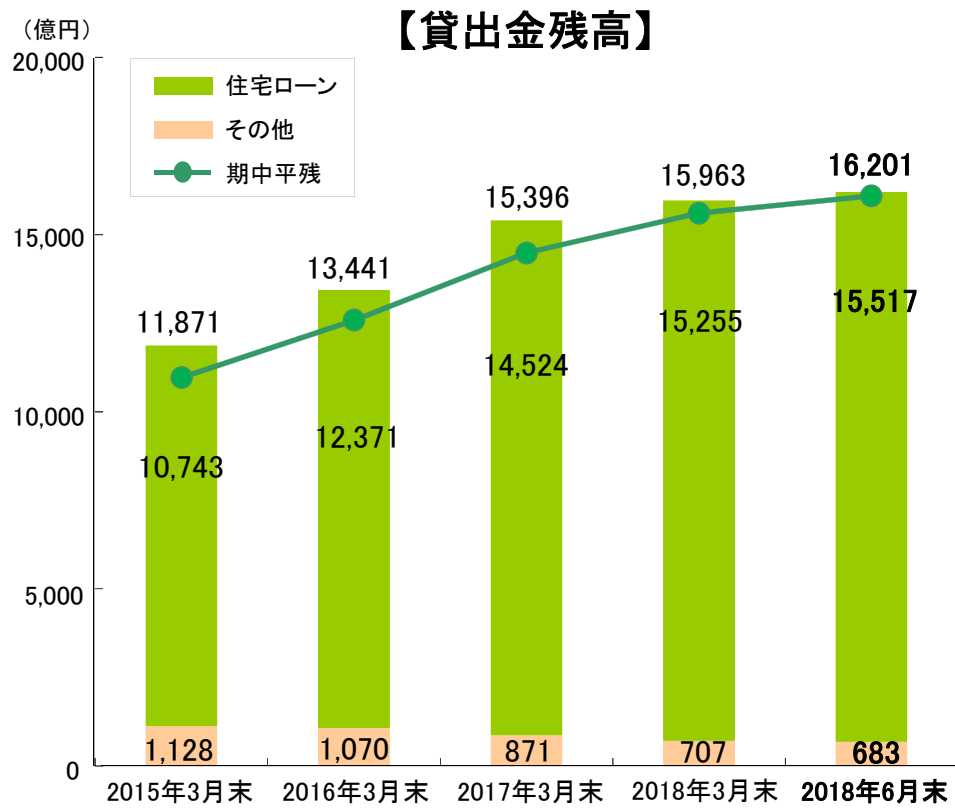


貸出金の状況

<単体>

- 貸出金残高は、住宅ローンの堅調な積み上がりにより、前年度末比237億円増加の1兆6,201億円。
- 預貸率は、前年度末比ほぼ横ばいの71.5%。

金額は億円未満切捨て、%は四捨五入で表示

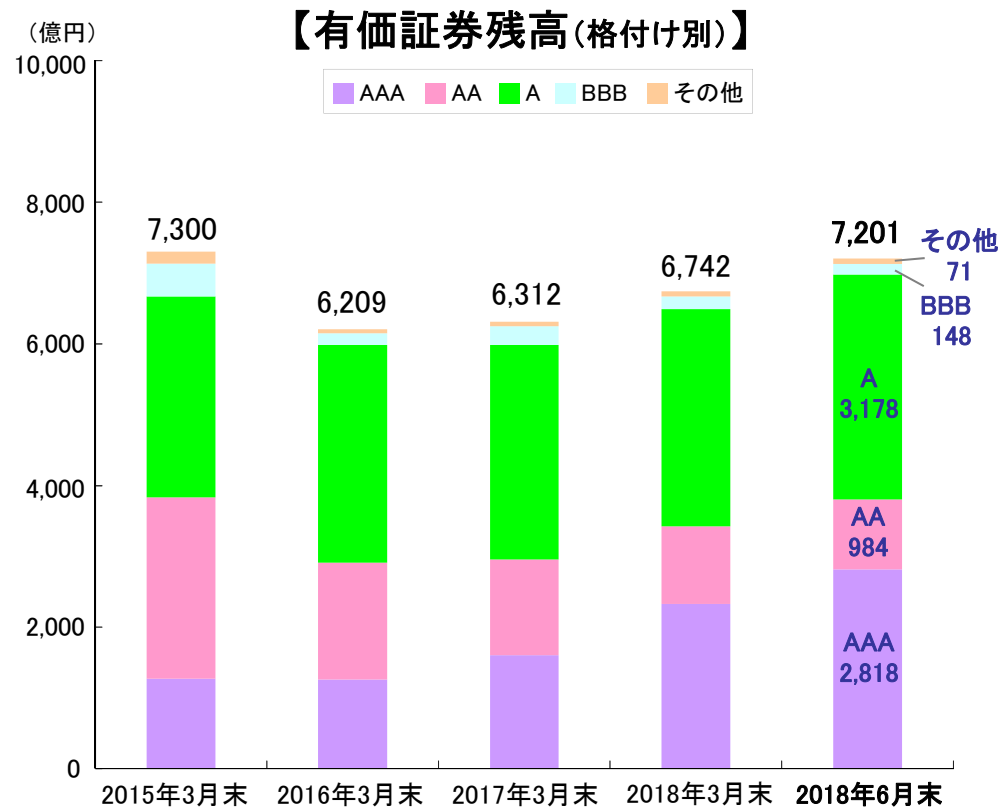


有価証券の状況

<単体>

- 有価証券は、引き続き高格付けの債券で安定的に運用。AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。残高は、前年度末比458億円増加の7,201億円。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は、68億円。

金額は億円未満切捨てで表示



【その他有価証券の内訳】 (億円)

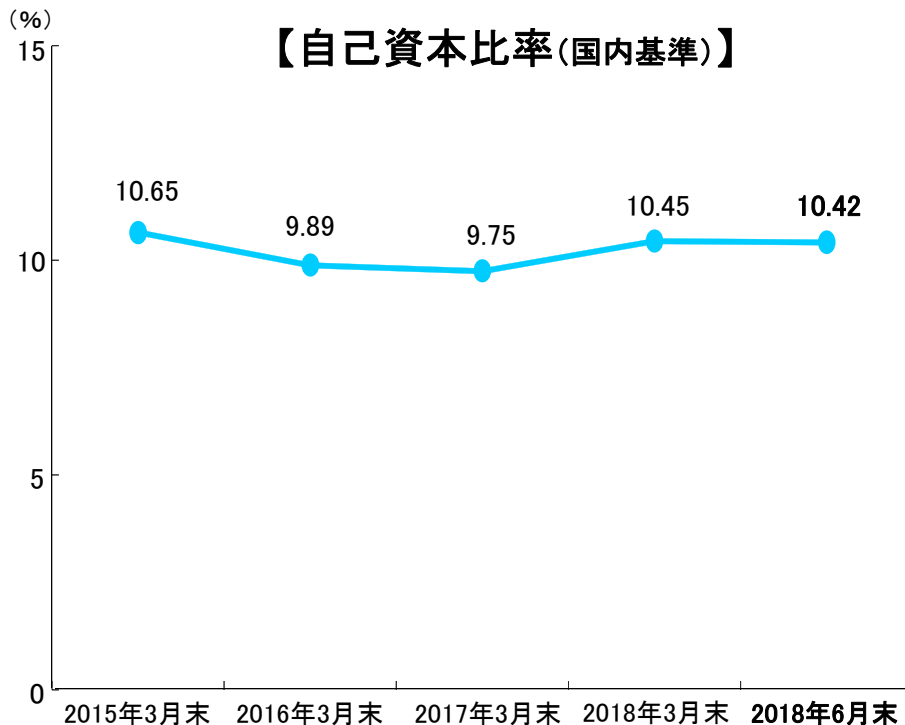
| | 2018年3月末 | 2018年6月末 |
|--------------------------|----------|----------|
| 債券 | 1,980 | 1,897 |
| 国債 | 968 | 897 |
| 地方債 | 360 | 359 |
| 社債 | 651 | 640 |
| その他 | 4,793 | 5,325 |
| 外国債券 | 4,689 | 5,230 |
| その他の証券 | 104 | 94 |
| 合計 | 6,774 | 7,222 |
| <その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)> | <77> | <68> |

※時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳
貸借対照表の「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載

自己資本比率・格付け情報

<単体>

- 自己資本比率は10.42%と健全な水準を維持。



【格付け(2018年6月末現在)】

| | |
|------------------------|-------------|
| スタンダード&プアーズ | |
| 長期カウンターパーティ格付け「A」 | アウトルック「安定的」 |
| 短期カウンターパーティ格付け「A-1」 | |
| 日本格付研究所 | |
| 長期発行体格付「AA-」 | 見通し「安定的」 |

※平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。

※2017年3月末より、基礎的内部格付手法で算出。